

# 平成23年度 事業計画書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



学校法人 九州国際大学

(平成23年3月31日 理事会)

# — 目 次 —

<b>I. 基本方針</b> .....	1
<b>II. 平成 23 年度予算概要</b> .....	1
1. 収入の部 .....	2
2. 支出の部 .....	3
<b>III. 事業計画・方針</b>	
<b>[学校法人]</b>	
1. 人事関係 .....	4
2. 施設拡充関係 .....	4
3. 財務関係 .....	5
4. 情報公開 .....	5
<b>[九州国際大学]</b>	
1. 教育概要 .....	6
2. 教育支援 .....	8
3. 学生支援 .....	8
4. 就職支援 .....	9
5. 研修事業 .....	9
6. 地域連携 .....	9
7. 国際交流事業 .....	10
<b>[九州国際大学付属高等学校]</b>	
1. 教育概要 .....	10
2. クラス編成 .....	11
3. 進路サポート体制 .....	11
4. 年間行事(予定) .....	11
<b>[九州国際大学付属中・高等学校]</b>	
1. 教育概要 .....	12
2. 年間行事(予定) .....	12

## I. 基本方針

大学を取り巻く環境はいつそう厳しさを増し、実質的に「大学全入時代」が到来するも大学数自体は増加し定員割れを起こす私立大学は約4割となっています。また、学生確保の決め手となる就職率は、雇用情勢の悪化から今春の大学卒業者に占める就職者数の割合が大幅な下げ幅を示しており、定員割れを起こす大学においては教育的側面・経営的側面からみても悪循環を招いていることは否めません。

このような中、文部科学行政においては大学卒業後に職業人・社会人として自立していけるよう、学生を育成する取り組みを支援する事業を開始しました。本学は、開学以来、建学の精神に掲げる「塾的精神」によって互いに切磋琢磨して精神を鍛え、社会に貢献できる人材の育成に力を注いでおり、これら行政支援事業と重ねるようにして職業人としての基礎力を支援する取り組みを既に実施しています。また、これらの教育基盤をさらに強化しながら学生のニーズにこたえるべくあらたなメニューをスタートさせ「就業力」・「学士力」の育成に力を注いでいきます。

中学・高等学校でも生徒募集に苦慮する中、2010年度に高等学校の「共学化」という大きな改革を行ったことで県下トップの志願者を獲得するなど北九州市域の注目を集めています。今後は、男女共学化を期に教職員・生徒の力をより結集し、「独自性のある」「活力のある」学校づくりに一層取り組んでいきます。

学校法人としては中期経営計画(平成20年～24年(5ヶ年))に基づき、期限と目標を明確にして経営基盤を強化します。改善計画の実行にあたっては、財務的な裏づけがあるものとして経営資源の選択と集中を図り、組織の構成員がこれらの情報を共有しつつ法人一体で改革に取り組んでいきます。

## II. 平成23年度予算概要

大学では、応急的な経済的支援策として地元出身者を応援するための「ガンバレ北九州・経済支援対策制度」を実施してきました。平成23年度入試においても大学進学希望者の一助となるべく保護者の経済負担を軽減する制度として同支援策を継続しました。高等学校では、「男女共学化」「サッカー部全国大会出場」「硬式野球部選抜全国大会出場」等によるメディア PR 効果を期待しています。このように、全学を挙げての教育改革と PR 効果が一定の成果を挙げて、大学・高等学校・中学校各部門の入学者数は一定レベルに留まり、学生生徒納付金は前年度並みを維持すると推測します。このほか、平成23年度末の退職者数により、退職金財団等からの交付金が前年比1億円強の増収が見込まれるため、帰属収入を35億5百万円計上しました。

これを踏まえ、平成23年度の予算編成(支出)については、近年の財務状況を鑑み消費収支の均衡に努めることとし積算しました。

予算概要として、一般経費では、細部にわたり見直しを行い予算削減しながらも奨学費が高い水準を示しています。これは、経済支援策・新規奨学制度等により優秀な学生を確保し学園の活性化を目指しているものです。同時に、より高い教育サービスを提供できるよう教育・就業支援事業に着手していきます。また、人件費比率が高い数値を示しており、学園規模に見合う収支構造を確立するため適正な人事政策を検討していきます。これらを総じて引き続き財政改革にあたります。

— 平成 23 年度 学校法人 九州国際大学 予算 —

消 費 収 支 計 算 書

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	2,273,862	人件費	2,409,924
(授業料)	1,655,974	(教員人件費)	1,578,134
(保護者負担軽減額)	△ 25,221	(職員人件費)	587,822
(入学金)	107,440	(役員報酬)	31,165
(実験実習料)	1,040	(退職金)	98,037
(施設設備資金)	66,840	(退職給与引当金繰入額)	114,766
(教育充実費)	467,789	<b>教育研究経費</b>	<b>1,156,229</b>
<b>手数料</b>	<b>73,611</b>	(奨学費)	341,678
(入学検定料)	67,083	(減価償却額)	350,111
<b>補助金</b>	<b>776,186</b>	<b>管理経費</b>	<b>396,079</b>
(国庫補助金)	213,601	(減価償却額)	80,677
(地方公共団体補助金)	562,295	<b>借入金等利息</b>	<b>10,665</b>
(その他の補助金)	290	<b>資産処分差額</b>	<b>0</b>
<b>資産運用収入</b>	<b>59,050</b>		
<b>事業収入</b>	<b>89,578</b>		
(補助活動収入)	85,778		
(受託事業収入)	3,800		
<b>雑収入</b>	<b>232,906</b>	[予備費]	25,000
<b>帰属収入合計</b>	<b>3,505,193</b>	<b>消費支出の部合計</b>	<b>3,997,897</b>
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 203,085</b>	<b>当年度消費支出超過額</b>	<b>695,789</b>
<b>消費収入の部合計</b>	<b>3,302,108</b>		

※( )内は、主な科目を内数として表示

## 1. 収入の部

### (1) 学生生徒納付金

入学定員確保を重要課題として募集活動に取り組みます。加えて、退学防止のための教育支援に取り組む収入減少の抑制に努めます。

### (2) 補助金収入

平成 22 年度私立大学等経常費補助金については、定員充足率が向上したことにより補助金の減額幅が縮小されたことなどが寄与し補助金額が増加しました。平成 23 年度の補助金収入額は過去の受給傾向・消費収入に対する補助金依存率等を考慮して収入計上しています。

その他、大学改革推進等補助金(国庫補助金)は、2 つのプログラムに申請予定であることから事前調書の申請額を計上しています。

高校・中学部門における福岡県私立学校経常費補助金は、学生割り配分額が大きな割合を占めていることを鑑み、在学生数並びに入学者数予測を踏まえ収入計上しています。

### **(3) 資産運用収入**

平成 22 年度は、退職給与引当特定資産の概ねを定期預金により運用してきました。減価償却引当特定資産においても安全性を考慮して6割以上を普通預金・定期預金・地方債等により運用しています。これら、特定目的資産の運用については、平成 23 年度も引き続き銀行預金中心の運用を行い安全性・流動性を重視します。

また、施設設備利用料について、学園の PR を兼ねて広く周知・利用促進し、増収に努めていきます。

### **(4) 事業収入**

受託研究事業に関して、自治体・企業・研究機関との連携により、国策・地域政策と合致した実践的研究に参画することで学園の存在意義・評価を高めていきます。また、外部資金(学外研究)を獲得し、これらを活用した研究スタイルを推進し、研究費調達が多様化を促進します。

寮運営事業について、大学学生寮は、従来の留学生寮を廃止してあらたに学生寮の賃貸契約を締結しました。これにより整備された寮を広く周知することで稼働率を上げていきます。高等学校生徒寮は、サークル生を中心としてニーズが高まり定員に近い入寮生を確保しています。大幅な支出超過とならないよう所有から利用への思考の転換等をまじえた経費削減に努め、寮生の教育面・生活面をサポートしていきます。

## **2. 支出の部**

### **(1) 人件費**

人件費に関しては、非常勤講師手当等(コマ数)の削減に努めており、平成 22 年度決算予測と比較して 1.4%程度(退職金関係支出除く)減少しました。

引き続き、「早期退職制度実施」「諸手当見直し」「賞与支給水準見直し」を行い人件費の抑制に努めていきます。

### **(2) 経費**

経常経費については、現状事業の抜本の見直しなどを掲げて予算編成にあたったものの、大学の施策としてあらたな学生生活活動支援制度を設けたことによる奨学金の増加が起因して、一般経費予算は、平成 22 年度決算予測と比較して 2.0%程度の減少に留まりました。

### **(3) 施設設備**

固定資産取得(建物・構築物・備品)は、高校共学化に伴うトイレ改修、財務システム・図書館システム・高校 PC 教室等の情報機器投資が要因となり、平成 22 年度決算予測と比較して 8%程度の増加となりました。

設備投資については、法令義務(耐震等)・安全確保を優先し事業実施にあたります。その他機器備品・図書購入については、必要最小限度の投資に留め計画的な資産購入等に努め、設備投資支出による偏った資金支出を抑制し支出の安定化を図ります。これら事業執行の際は、厳正な予算管理のもと、事業執行にあたります。

### Ⅲ. 事業計画・方針

#### [学校法人]

#### 1. 人事関係

##### (1) 人事考課制度

教職員の資質を向上させるとともに教育機関として最も重要な教育力の向上、ならびに組織の活性化を図る目的で「学校法人九州国際大学行動規範」に基づきトータル人事制度を運用しています。

個人調書の提出による基礎データの収集、目標管理シート・業績報告書による達成度評価を実施しながら、管理職レベルでは、「人事考課者研修」「目標管理制度研修」を実施してきました。平成23年度は、これまでの課題を改善するため人事考課制度実施要綱見直し検討委員会(平成23年1月～3月)等による議論を深め、新実施要綱による運用を開始します。

##### (2) 早期退職優遇制度

本学園が雇用する職員の生活設計の多様化に対応するため「学校法人九州国際大学早期退職優遇制度実施内規」に基づき早期退職優遇制度を実施します。平成23年度も引き続き、一定の条件を満たす高年齢職員等に対して退職勧奨してまいります。退職勧奨を受けようとする職員は、退職手当支給時に基準に応じて退職金支給割合の特別加算適用を受けることができます。

#### 2. 施設拡充関係

##### (1) 機器・備品整備関係

部署	場所	件名
平野 キャンパス	平野記念館KIUドーム	体育館スポットクーラー設置
	4号館(研究棟)	大学院談話室デジタルコピー機設置
	1号館	事務局拡大インクジェットプリンター一式
	2・3号館	2305・3202・3203 教室プロジェクター交換
	メディアセンター	図書館5階事務室デジタルコピー機設置
	メディアセンター	図書館2階カウンターデジタルコピー機設置
	4号館(研究棟)	大学院談話室PCリニューアル
	1号館	非常勤講師室PCリニューアル
	3号館	電腦スクエアPCリニューアル
	4号館(研究棟)	研究室・共同研究室PCリニューアル
枝光 キャンパス	B棟	PC教室1・2他PCリニューアル
	C棟	印刷室印刷機・コピー機交換
	第一体育館	第一体育館ロングマット交換
	橘寮・華橘寮	橘寮机・椅子・ベッド増設
	第一グラウンド	第一グラウンドサッカーゴールネット交換

##### (2) 施設整備・修繕工事関係

部署	場所	件名
平野 キャンパス	平野校舎	空調機中性能フィルター取替工事
	平野記念館	エレベーター不具合箇所修理工事(ロープ取替)
	2号館	熱源用2次ポンプ インバーター取替工事
	4号館(研究棟)	受水槽・高架水槽 天板塗装工事
	平野記念館	消防設備不具合機器取替工事
	1号館・KIUホール・メディアセンター	電気錠取替工事
	平野記念館	エレベーター不具合箇所修理工事(ロープ取替)
	A棟・C棟・D棟	熱源コントローラー取替工事
	A棟	熱源機器設備 1号機 オーバーホール

枝光 キャンパス	B棟	熱源コントローラー及び圧力センサー取替工事
	B棟	電気錠取替工事
	C棟	サーバー室空調修理工事
	D棟	熱源2号機 熱交換器取替工事
	D棟	女子トイレ増設
	第5期校舎・第一体育館	消防設備不具合機器取替工事
	共用棟	南側外壁修理工事
尾倉校地	旧文化交流センター	消防設備不具合機器取替工事
	旧文化交流センター	給水加圧ポンプ1号機モーター取替工事

### (3) 情報・通信機器整備

#### (枝光キャンパスB棟PC教室リニューアル)

高等学校の実習に使用しているPC教室のハードウェアをリニューアルします。パソコン・オペレーティングシステムおよび周辺機器をグレードアップし、最新の情報教育を実施するための環境を整備します。また、セキュリティ上の安全性を確保した安定的な環境を維持することができます。

#### (図書館システムの更新)

図書館業務の管理・運営を担う業務システムの老朽化によりシステム更新を行います。新機種を導入することでさらなる機能の充実化・利便性の向上を図ります。

#### (財務システムの更新)

サーバーや専用付帯機器の老朽化、およびデータの蓄積による処理能力の限界から財務システムをWeb版へ更新します。現行のクライアントサーバー方式からWeb版へ移行することで各端末へのソフトインストールや属性設定の負荷を大幅に軽減できます。

## 3. 財務関係

適正な予算執行を促すため予算説明会等を開催し事業着手前の予算措置や規程を遵守した経理手続きに関して啓蒙活動していきます。

一般経費の予算編成に関しては、事業計画の効果予測を検証し根拠に基づく予算積算を行います。建物・構築物・修繕工事・備品等の固定資産取得に関しては、優先度を勘案しつつ中期的な事業計画を立て予算化していきます。

資産運用については、引き続き定期預金等の安全性の高い運用に努めていきます。

また、日本私立学校振興・共済事業団(以下事業団)からの借入金は順調に返済しており、平成23年度の返済額122百万円(利息含む)も約定日までに返済し、一部完済します(総負債比率低下)。

これらを総じて、学園の財政安定化に必要な検討課題に対して様々な視点から提言を行っていきます。

## 4. 情報公開

私立学校法第47条に基づいて条項に則した事業報告書を作成し情報公開します。また、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令に基づき教育研究活動等の状況をホームページ等で積極的に公表していきます。これについても同規則に基づいて大学等の教育情報の公表を促進していきます。

さらに、学園情報誌「キュウトビ」を定期刊行し、本学園の取組みや財務情報ならびに学生活動を紹介するなど広く情報提供していきます。

## [九州国際大学]

### 1. 教育概要

#### (1) 法学部 / 法律学科

法学部では警察官や行政職員として、地域の発展や安全・安心な社会づくりに貢献したいという学生を受け入れる「リスクマネジメントコース」「資格取得・不動産管理コース」を設置しています。これらのコースは、法学部の学生の多くがめざす公務員や資格取得を、より確実なものにしようと生まれたものです。

本学部には少人数のゼミや課外活動、地域と一緒に課題を解決していく連携活動など、ユニークな教育プログラムがあります。こうした学内外でのさまざまな体験を通して得る知識やコミュニケーション力は、業種を限らず、社会へ活躍できる人材として育てていきます。

#### (リスクマネジメントコース) - 警察官・公務員をめざす -

警察官、消防士、行政職員に必要な危機管理の考え方や手法を学びます。行政・企業等におけるリスクが増大するなか、将来性の高い分野です。

#### (資格取得・不動産管理コース) - 就職に有利な資格を取る -

宅建や行政書士などの国家資格取得や、法律のスペシャリストをめざす人のロースクール進学をバックアップします。

#### (2) 経済学部 / 経済学科・経営学科

多様化する現代社会で「問題発見能力」と「問題解決能力」を発揮できる人材の育成。それが経済学部の教育目標です。そのため国内外のさまざまな経済活動を理解できることや、今の国際化や情報化した社会に沿った幅広い教養と専門的知識、さらに高いコミュニケーション能力を養えるようカリキュラムを工夫しています。

経済学科は将来、企業や地域社会で活躍したい人のための学科です。経済の理論と知識を修得し、世界と地域の経済を見つめる確かな目と、深い教養、豊かな人間性を身につけた人材を育成します。

一方、経営管理やマーケティングを学んで、実践的なマネジメント能力や情報・会計のビジネススキルを修得したい人のために、経営学科があります。

#### (地域づくりコース) - 地元企業・地方公務員を目指す -

地方分権の流れが加速するなか、自立のための地域づくりを担う人材育成が急務になってきました。地方を地元住民・地元企業・行政との連携による一つの地域として一体的に把握。地域再生の歴史や現状、事例、さらに手法を学びます。

#### (ビジネスアカウンティングコース) - 税理士・会計士を目指す -

日商簿記検定2級の全員合格を最低ラインに、1級合格、さらに税理士試験、公認会計士試験に向けての基礎知識を学んでいきます。30名限定の特別クラス編成で、会計学担当教員が4年間担当として徹底指導。資格取得にとどまらず、分析結果を明解な文章で説明できる、大卒ならではのプロを育成します。

#### (ビジネスリーダーコース) - 実務体験で生きた経営を学ぶ -

企業経営に必要な知識とスキルを身につけ、将来経営者として、あるいは地域経済のリーダーとして活躍できる人材を育成します。専門論理に裏付けられたインターンシップや実験店などの実務体験が豊富にあり、北九州の経営者と共に生きた経営学を学びます。

#### (3) 国際関係学部 / 国際関係学科

平成23年度より、従来の英語コースやハングルコースでの語学教育を活かしつつ、学生のニー



ズに合わせた実践的な教育を行う「観光ビジネスコース」と「国際協力コース」を新設します。

両コースでは、これまで国際関係学部が取り組んできた国際理解教育や語学教育を基盤として、特にホスピタリティ・マインドに裏打ちされたコミュニケーション能力や他者理解、企画マネジメント能力などを身につけていきます。入学直後の合宿型のプログラムでの仲間作りから始め、充実した初年次教育で大学での学習への円滑な移行、将来設計への継続的な助言、実践的・実務的な学習、課題探求型プロジェクト研究など、4年間を通してきめ細かな指導と基礎からの段階的な教育を行います。

#### **（英語コース）－ 使える英語を身につけるための学習支援 －**

国際関係学部の柱のひとつである国際言語運用能力、その中でも「英語」は「世界共通言語」として最も重要な言語です。英語コースは徹底した英語教育を行います。

到達度別クラス編成で、自分の英語力に適したクラスからスタートし、レベルに応じて段階的に学習していきます。

#### **（ハングルコース）－ 韓国語と「韓国」を学ぶ －**

ヒトやモノ、情報の流れが広がり続ける日韓両国ではハングルを駆使できる人材が求められています。ハングルコースは、楽しさと実践的な講義で、需要が高まる韓国語のスペシャリストを育成します。

#### **（観光ビジネスコース）－ 実践的アプローチの学習 －**

旅行、ホテル、鉄道などの観光ビジネスを中心とするホスピタリティ産業への就職をめざします。ホスピタリティ産業とは、旅行やホテルのみならず、旅客を扱う鉄道やバス、航空、テーマ・パークなども含まれます。このような分野において求められる能力を培うことができるように、実践的・実務的なアプローチを重視するとともに、関連する資格・検定対策に必要な知識を提供できるようにカリキュラムや支援制度を準備しています。

#### **（国際協力コース）－ 協働する技術を学ぶ －**

NGO や NPO、青年海外協力隊や国際関連機関などで将来的に活躍できる人材を育成します。

国際関係学部が力を入れるホスピタリティに根ざしたコミュニケーション能力は、まさに国際協力の取り組みに必要とされるものです。語学はもちろん、グループワークなどの参加・体験型学習を通じて対話を積み重ね、国内外での実践的な「実習」を数多く経験していき、教員と学生が二人三脚で取り組んでいきます。

#### **（4）大学院 / 法学研究科・企業政策研究科**

大学院修士課程は、高度専門職業人の養成を目的としての知識と専門性を高めていきます。

法学研究科では、企業や行政の現場で発生する、さまざまな問題を解決するための法知識の習得を目指します。また、平成 21 年度に導入した「法学研究科特修プログラム」「長期履修制度」に適用する学生を受け入れて研究指導を実施していきます。

企業政策研究科では、経営実務に関する高度な知識、企業を取り巻く外部環境にかかわる専門知識をもつ人材の育成を目指します。

本学(学部)は夜間部として開学し、長きにわたり勤労者教育の精神を受け継いで勉学の場を提供してきましたが、近年、学部教育における夜間主コースの入学者及び有職者の入学者が減少しているため、昼夜開講制度を廃止しました。今後の勤労学生の夜間教育の目的は大学院に継承していくこととなります。

#### **（5）別科日本語研修課程**

学部への入学を希望する留学生を対象とした課程のことで、大学で学ぶために必要な日本語及び日本事情、英語等の教育を行います。少人数クラス編成で、きめ細かい授業が行われている

ほか、学習・進路・生活上の問題に対する指導・助言を行っていきます。

クラスの編成は、学生個々の能力に応じて編成しています。毎学期初めにプレイスメントテストを行い初級、中級の2段階に分け、初級においてはA・B、中級においてはC・Dの2クラスに分けることによって能力別授業を実施していきます。

## 2. 教育支援

### (1) 入学前教育プログラム

教育の質的保証を確保する一環として、早期に合格した入学予定者に対して「基礎学力」を補う目的で入学前教育プログラムを実施します。専門業者開発の教材を活用して大学側と業者が連携しながら学習の支援をしていきます。本プログラムを受講することで入学までの期間に学習のモチベーションを高め、大学入学後の授業へスムーズに移行していきます。

### (2) 初年次教育

入学者の目的意識の低下、学力や職業意識の低下により退学者が増加しています。中教審が定義する「学士力」、経産省が定義する「社会人基礎力」を前提として、教える教育から育てる教育に取り組んでいます。これら取組みの一環として新入生研修(FM:フレッシュャーズ・ミーティング)、体験学習(PA:プロジェクトアドベンチャー)、学生に応じた目的達成支援(PASS:Project of Achievement Support for Students)を実施していきます。

### (3) 基礎学力向上プログラム

本プログラムは1年次の秋学期より開講しており、公務員試験・教員採用試験・民間の就職筆記試験に必要な基礎教育(国語・数学・英語)を行うことで基礎学力レベルを引き上げていきます。受講前に実施される学力診断テストの結果に基づき学力別クラスを編成し、レベルに応じた講義を学期毎に段階を経て実施していきます。

### (4) 地域連携型体験教育による就業意欲の向上(法学部事業)

平成22年度に文部科学省が公募する「大学生の就業力育成支援事業(地域連携型体験教育による就業意欲の向上)平成22年度～平成26年度(5ヶ年間)」に採択されました。

本取組みは、法学部における「リスクマネジメント・プログラム」と「資格取得・不動産管理プログラム」において、警察・消防・企業等の地域社会と連携しつつ、学生の職業意識等を高め、就業に必要な知識やリテラシーを育成して、就業力の強化を図ろうとするものです。そのために、体験型教育等によって修学意識を高め、協同学習等によってコミュニケーション能力やリテラシーを育成し、実用的な専門知識の習得につなげていきます。このサイクルを繰り返すことで就業力を育成していきます。

### (5) 実習科目の推進

海外での体験的な学習機会を設けるために海外提携校での語学実習、外国事情研修、ボランティア活動等の海外実習科目を開講します。また、国内でのボランティア活動や企業実習等を行う国内実習科目を開講します。

## 3. 学生支援

### (1) 学生奨励制度

学生の能力向上や精神的な成長を目的として、努力する学生を応援するための奨励制度を設けています。TOEIC受験・ビジネス実務法務検定受験補助等をはじめ国家資格等の資格取得を果たした学生に対して資格取得する奨励制度があります。

### (2) エクステンションセンター運営

公務員受験対策や国家資格を中心とした講座運営を実施します。これらは、リスクマネジメントコ

ース、不動産管理コース、地域づくりコース、観光ビジネスコース等、学部教育のカリキュラムと連動する形式で開講し就職に直結した資格取得を支援しています。

また、韓国語・中国語などの教養教育講座も開講していきます。

### (3) 保護者連絡会の実施

学生の就学状況や学生生活の実態を把握し成績不振等を解消するために相談会を実施します。大学側と学生・保護者を交えて質問・相談に応じます。

### (4) 学生寮

平成 11 年度より新日本製鐵(株)より賃貸契約していた九州国際大学留学生寮さくらハイツ(福岡県北九州市八幡東区平野二丁目 8 番 12 号)を返還し、あらたな学生寮として九州国際大学紅梅寮(福岡県北九州市八幡西区紅梅四丁目 7 番 6 号)の賃貸契約を締結します。旧留学生寮の老朽化などにより新規賃貸契約を行うもので、利用する学生はリフォーム済みの完全個室で家具・エアコン・冷蔵庫・インターネットを完備した空間で学生生活を送ることができます。

## 4. 就職支援

### (1) 自らが考え行動する自立した社会人を育む K I U キャリア形成支援事業

平成 21 年度に文部科学省が公募する「大学教育・学生支援推進事業(自らが考え行動する自立した社会人を育む K I U キャリア形成支援)平成 21 年度～平成 23 年度(3 ヶ年間)」に採択され、補助金を活用して就職率向上を目的とした事業を継続(3 ヶ年目)します。

本取組みは、K I U - S P I C E (Kyushu International University Support Program In Career Education)と称し①入学年次からの 4 年間を通じ社会人基礎力、人間力、就業力を身に着けるキャリア教育と、②学生の就職活動を強力に支援するキャリアサポートにより、自立した社会人を育み、参加学生の就職率 100%を目指すものです。正課授業に組み込まれたキャリア教育、学生に自己発見の機会と新鮮な刺激(スパイス)を与えるための講義(理論)、模擬試験(基礎学力)、ワークショップ、インターンシップにより構成され、実効的対策として元企業の人事採用担当者を就職アドバイザーに起用した就職なんでも相談やモバイル情報システムにより就職活動を支援していきます。

### (2) 卒業延期制度の実施

今春の大学卒業者に占める就職者数の割合が大幅な下げ幅となっています。卒業の要件を満たしたにもかかわらず、就職未決定の学生を支援するために卒業延期制度を設け就職活動をバックアップしていきます。

## 5. 研修事業

学校法人九州国際大学職員人事規則に基づき教職員の能力開発及び資質の向上を目的として恒常的に研修等を実施しています。FD(ファカルティディベロップメント)・SD(スタッフディベロップメント)活動の目的は、教職員の職能開発であることはもとより、教育の質的向上にあります。これまでと同様に「学士課程教育の質的保証」「初年次教育」等を中心として各学部・研究科において実施された研修内容を継続的に展開していきます。

また、Semester毎に実施している授業アンケートの分析結果などを踏まえて、FD委員会・教務委員会において対策を講じ授業運営の改善を行っていきます。

さらに、他大学の先進事例について情報を得る、研修会を実施するなどしてFD・SD活動を推進していきます。

## 6. 地域連携

### (1) 大学コンソーシアム関門事業

関門地域の高等教育機関が相互に連携・協力し、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献する目的で参加大学によりオリジナルの講義を提供しています。本学に

においても、コンソーシアム事業を推進し講義提供等を実施していきます。

## (2) 地域安全パトロール

本学周辺並びに八幡東区周辺にかかる暴走行為や少年非行の抑止、ならびに各種災害の防止活動をはじめとした地域の安全・清掃活動等に貢献し安全で安心できる「まちづくり」に寄与する目的で平成 22 年 10 月に地域安全パトロール隊を発足しました。本学職員・学生が警察・地域防犯ボランティアと連携して定期的に防犯パトロールを実施していきます。

## 7. 国際交流事業

### (1) 韓国東亜大学校国際交流プログラム

本事業は、協定校である東亜大学校からの学生派遣依頼を受け、平成 22 年度に実施したプログラムを継続します。

国際交流プログラムは、留学生を本学別科日本語研修課程に受入れ日本語の教育や日本の文化教育行事への参加など国際教育に貢献いたします。

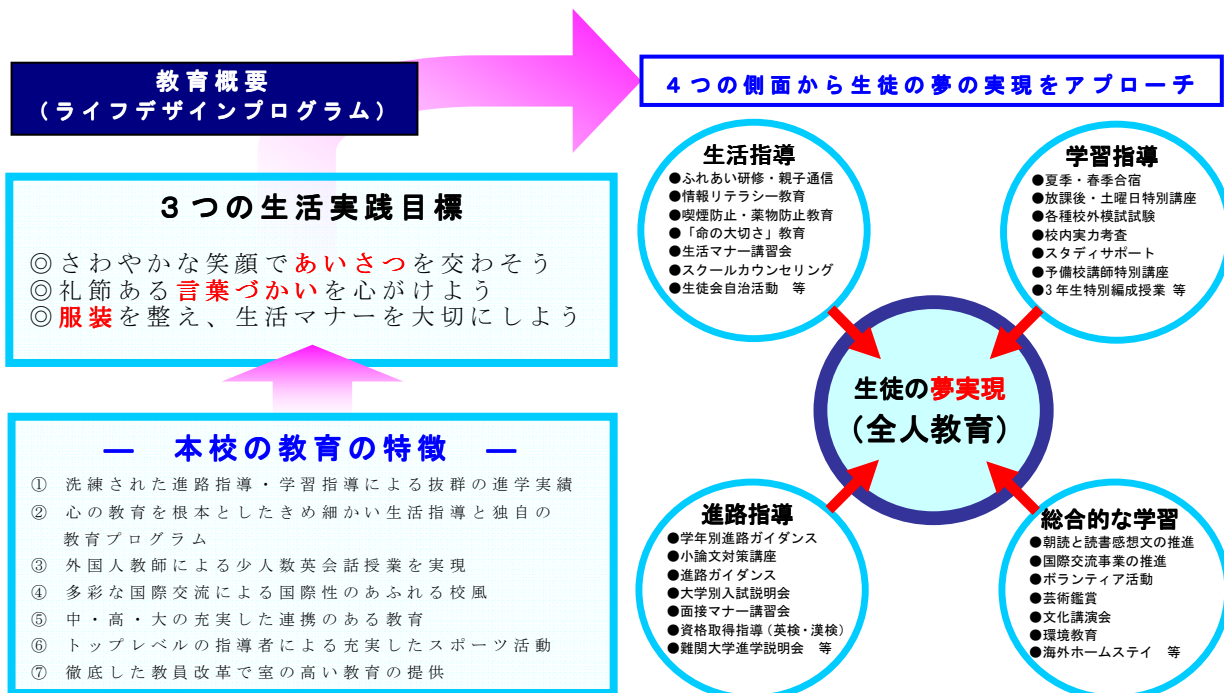
### (2) 交換留学の推進

本学の代表として外国海外協定校(中国・韓国・台湾・インドネシア)に留学し海外での生活を通してグローバルな視野と知識を持った人材を養成する目的で交換留学生を募集します。一方、海外協定校からの留学生を積極的に受け入れ、日本語や日本文化を学ぶプログラムを実施していきます。

## [九州国際大学付属高等学校]

### 1. 教育概要

2010 年、男女共学として再スタートし、今まで受け継がれてきた伝統と進学・スポーツ実績をもつ学校としての誇りを胸により質の高い教育をめざします。本校が掲げるのは、「知・徳・体」のバランスがとれた人間教育です。学力向上はもちろん、心身ともに健全で、社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に努めます。



## 2. クラス編成

クラス	概要
難関クラス	九州大学以上の難関大学・国立大学医学部への合格を目指す。クラブ活動への参加も可能。
特進クラス	国公立大学への合格を目指す。クラブ活動は学業との両立も目標。
準特進クラス	特進クラスへのステップアップを目指す。国公立・私立大学への合格が目標。
進学クラス	特進・準特進学クラスへのステップアップを目指す。国公立・私立大学への合格が目標。
国際コミュニケーションクラス	英語教育に重点を置き、国際感覚を身につけながら大学進学を目指す。
トップアスリートクラス	クラブ活動と勉強の両立を果たしながら、全国大会出場を目指す。また、基礎力の充実を図りながら大学進学を目指す。

※3年生は、旧男子部・旧女子部体制でのクラス編成・カリキュラムにより授業運営を実施する。

## 3. 進路サポート体制

### ① 学習・進学サポート

いち早く「目標」を明確にして学ぶ意欲をかき立てるフォロー体制を確立し、土曜日や放課後に加え長期休暇中の特別講座を実施して進学(合格)に向けての準備を万全にしています。

また、各種ガイダンスを実施して勉強方法や受験までの心構え、受験動向などを早期から指導します。

### ② 入試対策

「小論文・面接対策」「資格取得指導」「予備校講座」「大学特別講義」等を実施することで多様化する大学入試に対応できる体制を整えます。

### ③ 放課後・休暇中の学習フォロー

生徒一人ひとりの学習計画を踏まえて夏休み・冬休み・学期末などの学習を支援します。

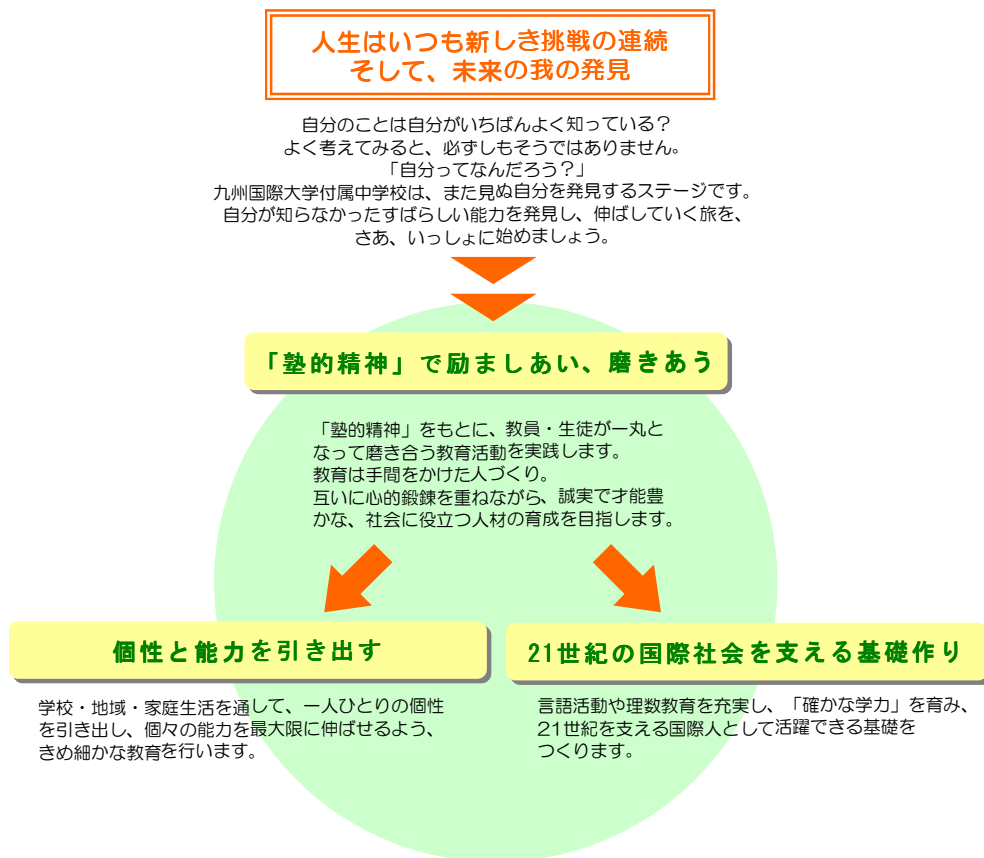
## 4. 年間行事（予定）

		付属高等学校			
4 月	始業式	5 月	学園創立記念日	6 月	文化祭
	入学式		遠足		ラブアースクリーン
7 月	新入生ふれあい研修	8 月	防災避難訓練	9 月	始業式
	オリエンテーション(1年)		PTA 総会		
10 月	定期健康診断	11 月	マナー講習会(1年)	12 月	中国研修(国際2年)
	クラスマッチ		夏季特別講座		英会話研修(国際1・2年)
1 月	生徒総会	2 月	勉強合宿	3 月	保護者会
	保護者会		海外ホームステイ(希望制)		終業式
10 月	韓国培花女子高校来校	11 月	芸術鑑賞	12 月	冬季特別講座
	中国田家炳高校来校		人権学習		卒業式
1 月	英会話研修(国際2・3年)	2 月	国立大学進学説明会	3 月	英会話研修(国際1・2年)
	全国大会壮行会		一般入学試験		全国大会壮行会
10 月	面接講習会(3年)	11 月	芸術鑑賞	12 月	終業式
	定期健康診断		人権学習		勉強合宿
7 月	クラスマッチ	8 月	海外ホームステイ(希望制)	9 月	オーストラリア研修(国際1年)
	生徒総会		夏季特別講座		卒業式
1 月	保護者会	2 月	勉強合宿	3 月	英会話研修(国際1・2年)
	韓国培花女子高校来校		海外ホームステイ(希望制)		全国大会壮行会
10 月	中国田家炳高校来校	11 月	国立大学進学説明会	12 月	終業式
	英会話研修(国際2・3年)		一般入学試験		勉強合宿
1 月	全国大会壮行会	2 月	一般入学試験	3 月	オーストラリア研修(国際1年)
	終業式		進学研究会(2年)		卒業式
10 月	面接講習会(3年)	11 月	国立大学進学説明会	12 月	英会話研修(国際1・2年)
	定期健康診断		修学旅行(2年)		全国大会壮行会
7 月	クラスマッチ	8 月	海外ホームステイ(希望制)	9 月	終業式
	生徒総会		夏季特別講座		勉強合宿
1 月	保護者会	2 月	勉強合宿	3 月	オーストラリア研修(国際1年)
	韓国培花女子高校来校		海外ホームステイ(希望制)		卒業式
10 月	中国田家炳高校来校	11 月	国立大学進学説明会	12 月	英会話研修(国際1・2年)
	英会話研修(国際2・3年)		一般入学試験		全国大会壮行会
1 月	全国大会壮行会	2 月	一般入学試験	3 月	終業式
	終業式		進学研究会(2年)		勉強合宿
10 月	面接講習会(3年)	11 月	国立大学進学説明会	12 月	オーストラリア研修(国際1年)
	定期健康診断		修学旅行(2年)		卒業式

## [九州国際大学附属中・高等学校]

### 1. 教育概要

中学・高等学校(一貫部)は、その教育目標に「知・徳・体の調和のとれた人間教育」「個性や能力に基づいた希望進路の実現」を掲げています。充実した中学校生活を過ごし、たしかかな知力と徳力、体力を身につけ、より高い進路の実現を目指します。



### 2. 年間行事（予定）

付属中・高等学校		
4 月	始業式 入学式 授業参観 個人面談	
5 月	「北九ウォーク」 皿倉登山(1, 2年) 長崎街道ウォーク(3, 4年) ぐるっと関門(5年) 太宰府合格祈願(6年) 中間考査	<p>■北九ウォーク</p> <p>私たちの町「北九州」の歴史や文化に触れることによって、町の様子を知り、私たちの未来を考えます。1・2年次には「皿倉山ボランティア登山」を行います。3・4年次の「長崎街道ウォーク」は木屋瀬～小倉間の25kmを歩き、心身を鍛えます。5年次の「ぐるっと関門」は門司・下関を散策します。</p>
6 月	文化発表会 期末考査 生徒会長選挙	<p>■文化発表会</p> <p>生徒会が中心となって全校あげて行います。ステージでは生徒たちが日頃思っていることを表現するS-1グランプリなど盛りだくさんのプログラムがあります。また、学年ごとの模擬店や展示など各教室でも文化発表会を盛り上げていきます。</p>

7 月	自然体験教室(1年) 産業科学体験学習(3年) 終業式 夏期課外 保護者会 企業訪問(5年)	
8 月	夏期課外 九大オープンキャンパス(5年)	
9 月	始業式 体育大会 個人面談	<p>■ 体育大会</p> <p>中学生と高校生が協力して作り上げる体育大会は大変盛り上がります。全員参加の応援合戦では、高校生が中学生を熱心にリードします。</p>
10 月	授業参観 中間考査 海外体験教室(4年)	<p>■ 海外体験学習</p> <p>ファームステイや学校交流を通し、現地の人たちとのコミュニケーションをはかっていきます。異なる文化・習慣を肌で感じ、日本を違う視点から見つめなおすことができます。</p>
11 月	芸術鑑賞 近代化遺産体験学習(2年) 期末考査	
12 月	音楽祭 終業式 保護者会 冬期課外	<p>■ 音楽祭</p> <p>響ホールという大きなホールを借り切って、1年生から3年生がクラス単位で課題曲と自由曲を歌います。個人発表ではオーディションで合格した生徒たちが、日頃練習した成果をステージで発表します。</p>
1 月	始業式 百人一首大会(1,2年) 中学校入試	
2 月	スキー体験教室(2年) 学年末考査	
3 月	卒業式 自由研究論文発表会 英語スピーチコンテスト クラスマッチ 終業式	<p>■ 英語スピーチコンテスト</p> <p>全員参加の予選を勝ち抜いた代表者たちが本選大会で発表します。</p>



発行 / 学校法人 九州国際大学 法人事務局  
〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目 5-1  
TEL : 093-671-8900 / FAX : 093-671-9032